

# 八幡平&岩手山山行報告

【山行日】2016年8月 20日～21日(土日)  
【集 合】栃木市運動公園P AM 3:00  
【費 用】マイカー2台 : 23,000円  
【メンバー】CL:鈴木ユ 石川、岩淵、大西、鈴木ヤ、  
関、藤原、松館、渡辺

20日 晴れ後雨 見返峠から八幡平頂上へ登り、  
源太森から黒谷地湿原を廻り見返峠へ

栃木市運動公園P3:00=見返峠 P8:20/8:30～八幡平  
頂上 8:55/9:10～源太森 9:40/9:50～黒谷地

10:30/10:55～黒谷地入口 11:10～見返峠 11:55/12:30  
=ビジターセンター13:00/13:30=

休暇村岩手網張温泉 15:00

去年の秋、雨で登頂を断念した八幡平と岩手山のリベンジ登山を計画した。



今年は時季を夏にずらし計画したが、台風11号の影響を受け天気予報は良くないが、秋田県側は晴れの予報になっていた。見返峠は岩手県と秋田県の県境にある峠なので、微妙な天気になりそうだ。

予定通り見返峠の駐車場に着き、出発の準備をする。

レストハウスのトイレがまだ開かないので、階段を降りて秋田県側の駐車場にあるトイレを使用する。

ストレッチを行い、道路の下に付けられた階段をくぐり遊歩道に入る。観光用に整備された道は広く、傾斜の緩い石畳を歩く道はとても歩き易い。

すぐに分岐があり、左のメガネ沼を通るコースを進む。灌木帯の道を緩やかに登ると右に沼が現れ、これがメガネ沼。さらに緩やかに登って行くと、立派な木製の展望台がある八幡平山頂に着く。

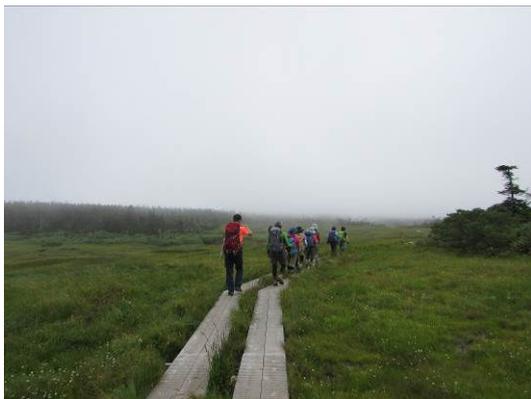
記念写真を撮り、展望台に上がって周囲の景色を眺めるがガスで眺望は得られない。ここからガマ沼や八幡沼へ向かって進むとタチギボウシやタテヤマリンドウ、ハクサンフウロ等の花が目を楽しませてくれる。展望台から八幡沼へ向かって木の階段を降り、沼の畔に建つ稜雲荘に寄りトイレを済ませ湿原に向かう。湿原は広くのびやかで、木道の脇にはタチギボウシやエゾオヤマリンドウ、コウメバチソウの花が目を楽しませてくれる。湿原が終わると山道に代り、少し進んで源太森の標識を左に折れ、数分登った頂が源太森だ。

山頂からは、眼下に歩いてきた湿原や八幡沼、アオモリトドマツの原生林が広がり雄大な八幡平の景観が楽しめる。

展望を楽しみながらグレープフルーツや菓子を食べて、エネルギーを補給し黒谷地に向かう。一旦八幡平からの登山道に戻って左に進み、すぐに安比岳への道を左に分けて右に進む。火山灰の登山道は雨水で浸食され、大きな段差が連続しとても歩きにくい。傾斜が緩くなり、木道を歩くようになるとやがて黒谷地湿原に着く。湿原には木製の大きな休憩所があり、一段低い方のベンチで休憩する。ガスが濃くなり水滴を感じるようになってきたので、ここでランチタイムにすることにした。今日の山ご飯は、ちたけうどん。徳ちゃんが採ってきたちたけと、ナスをふんだんに入れた贅沢なうどんだ。



調理してる途中から雨が降り出し、皆レインウエアーを着て食べることになってしまった。それでも、ちたけの出汁が出てとても美味しいと食べていた。



計画では茶臼岳に登り、茶臼岳登山口に降りる予定だったが、雨が降って来たので黒谷地湿原入口のバス停に向かった。バス停で時間を確認すると、45分の待ち時間になる。皆にどうするか聞くと「歩き足りないから駐車場まで歩いて行く。」と頼もしい返事が返ってきた。

見返峠の駐車場まで50分歩き、駐車場へ我々が着いた時バスも同時に到着した。

予定よりも早いので、レストハウスでお買い物をする。

レストハウスの秋田県側は晴れており、岩手県側は雨が降っているなんとも皮肉な天気にも翻弄された。車に乗り、

途中のビジターセンターに寄り、野菜や去年美味しかったコーヒー、ソフトクリームなどをいただき、今宵の宿『休暇村岩手網張温泉』に向かった。網張温泉は千年の名湯と言われ、五つの温泉が楽しめるが一番大きい「大釈の湯」に浸かり、広々とした内湯と展望の露天風呂を楽しんだ。夕食はバイキングで、皆さんはいつものように頑張ってお腹いっぱい食べまくっていた。夕食後明日の天気予報を確認すると、八幡平市は台風11号の影響で大雨強風注意報が出ていた。皆さんと相談し、岩手山登山は断念しホテルの朝食をいただいて、小岩井農場や中尊寺の観光に変更することにした。

**21日 曇り時々晴れ 岩手山登山を断念し、小岩井農場から中尊寺、毛越寺を観光し栃木へ**  
休暇村岩手網張温泉 8:30＝小岩井農場 8:55/9:30＝中尊寺 10:20/11:40＝毛越寺 11:55/12:30＝  
長者原 SA13:15/14:00＝栃木市運動公園 P17:45



朝起きて窓の外を見ると、雨は降ってなく少し日差しがあり風もなかった。「エ～～これなら登れるじゃん！！」と思ったが、諦めるしかない。温泉に入り、露天風呂に浸かっていると急に雨が降ってきた。

山の上は雲に覆われており、登らないで正解と言いつける。朝食に行くため、女性の部屋を訪ねるともう出かけたらしい。レストランに行くと、女性たちはすでに料理を取りテーブルに座っていた。まあ、昨夜も山に登るよりも朝食バイキングに心が動いていたが…。気合入れまくりで取ってきた料理を平らげ、締めめにヨーグルトとコーヒーを

いただき御馳走様。皆さんお腹いっぱい、小岩井農場に向かった。

少し早く着いたが、売店のお姉さんが中に入れてくれた。茹でたトウモロコシや野菜が安く、女性たちは喜んで買っていた。もう一軒の直売所に寄り、さらにお土産をゲットし世界遺産の中尊寺へ向かった。中尊寺に着き、一番近い町営第一駐車場に車を止め、表参道から境内に向かう。途中、小さなお堂が並んでいるが、気に入ったお堂は帰り寄ることにして本堂へ参拝する。中尊寺は奥州藤原氏初代清衡が造営した寺院で、千年近い歴史があり本堂もなかなか立派である。本堂の中に上がってご本尊にお参りしたが、地元の高校生の吹奏楽部が演奏会の準備をしていた。本堂を出て参道を奥へと進み、賛衡蔵前で金色堂の拝観権を購入し金色堂を拝観する。藤原三代がおよそ100年にわたって築いた平泉文化の象徴である金色堂は、当時の人々が極楽の世界を見る思いがしたと言われるのが納得できるほど光り輝いていた。帰り道、国宝や重要文化財などが多数收藏され



ている賛衡蔵に寄り、藤原氏三代が栄華を誇った遺品を見学し中尊寺を後にした。

ここから車で数分のところにある、同じく世界遺産の毛越寺へ向った。

毛越寺は藤原氏二代基衡、三代秀衡が造営した寺院で、当時の伽藍は中尊寺をしのぐ規模で「吾が朝無双」と称されたそうである。当時の堂宇は全て焼失してしまったが、堂宇の礎石や庭園の遺跡が良好な状態で残されている。大泉が池が境内に広がり、その周囲に遊歩道があり堂宇の遺跡を見ながら浄土庭園の素晴らしさを堪能できる。のんびりと池の周りを歩き、各御堂の礎石を確認し当時の堂宇の規模を偲ぶことが出来た。毛越寺を後にして一関ICから東北道に乗り、長者原SAで少し遅い昼食を食べる。天気も晴れて、東北道も順調に走り栃木市運動公園に明るいうちに着くことが出来た。